

耐災害 I C T 研究シンポジウム及び デモンストレーション2016

— 耐災害 I C T 研究の展開とレジリエントな社会構築 —

2016年3月14日(月) 仙台国際センター 会議棟2F

- ◆ シンポジウム 13:00~16:00 会場:「萩」
- ◆ 展示 12:00~17:00 会場:「橘」

主催/国立研究開発法人情報通信研究機構 後援/総務省(予定)、耐災害ICT研究協議会
日英同時通訳 (Japanese-English simultaneous interpretation)

■ 開催要旨

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)では、東日本大震災発生時、情報通信ネットワークに障害が発生し、被害状況の把握や復旧活動を妨げる要因となったことを教訓として、仙台に耐災害ICT研究センターを設置し、産学官の関係者が参加する耐災害ICT研究協議会とともに、情報通信ネットワークの耐災害性強化に向けた研究開発やその成果の社会展開に向けた活動を進めてまいりました。今般、東日本大震災から5年、そして当センターの設立から4年目という節目を迎えるにあたり、これまでの研究開発活動を踏まえつつ、今後の研究開発の方向性やその社会展開方策に関する討論を行い、耐災害ICT分野から大規模災害への備えのある災害に強い社会の実現に貢献すべく「耐災害ICT研究シンポジウム及びデモンストレーション2016」を開催致します。

■ 開会挨拶 13:00~13:10 坂内 正夫 情報通信研究機構 理事長

■ 講演 13:10~14:00 「耐災害ICT研究の進展と今後」

ICTIによる大規模災害への備え ~政府の取組と方向性~

富永 昌彦 総務省大臣官房総括審議官

東北大学復興アクションの成果と今後

原 信義 東北大学理事

耐災害ICT研究センターでの取組と今後の展開

根元 義章 NICT耐災害ICT研究センター 研究センター長

■ パネル討論 14:15~15:45 「耐災害ICT研究によるレジリエントな社会構築」

モデレーター/ 熊谷 博 NICT耐災害ICT研究センター 副研究センター長

パネリスト / 加藤 寧 東北大学電気通信研究機構 機構長

東條 弘 NTT未来ねっと研究所 メディアイノベーション研究部 部長

阿部 博則 KDDI復興支援室 室長

坂本 和大 和歌山県白浜町役場 総務課企画政策係 主査

Sopheap SENG カンボジア 郵便・電気通信・情報通信研究所 (NIPTICT) 所長

■ 閉会挨拶 15:45~16:00 富田 二三彦 情報通信研究機構 理事

■ 展示

耐災害ICT研究開発の成果等を展示。

■ お申し込み

お申し込みは、下記URLからお願いいたします。参加無料

<http://www.nict.go.jp/reict/symposium2016/>

■ 会場へのご案内

仙台市営地下鉄東西線(八木山動物公園方面)

国際センター駅下車 徒歩1分



<お問い合わせ先>

事務局/ NICT耐災害ICT研究センター 企画室

〒980-0812 宮城県仙台市青葉区片平2-1-3

TEL:022-713-7511, FAX:022-713-7587, e-mail:resil-sympo2016@ml.nict.go.jp